



大きな声で歌いました。(つすみ保育園卒園式)

■新年度予算の概要	 P 2～3
■29年度予算審査についての質疑	 P 4～6
■1月・2月・3月会議の内容(補正・陳情他)	 P 7
■議会報告会(伊勢町、中央、中扇、福原、栗ガ丘)	 P 8～9
■議員一般質問	 P 10～22
■議会日誌	 P 23

6年間の成長を見守る



保育
園は、仕
事等の

ために保育できない保
護者に代わり、生活習
慣の基礎を培ったり、
様々な体験を通して
学びの芽を育んだり、

つすみ保育園長 西澤裕子

人ひとりの育ちや成
長に寄り添い心の安
定をはかり、情緒豊か
に成長する手助けを
したりするところです。
年度の終わりの卒園
式は、6歳になり逞し
くなった子供たちの晴



元気に保育証書をいただきました。(つすみ保育園)

れ舞台です。堂々と保
育証書を受け取り、
胸を張って楽しかった
ことや感謝の言葉を
述べます。会場全体が
感激と、そしてほのぼ
のとした雰囲気にな
ります。成長した子
供たちを送り出すこ
の日は、毎年保育園に
とって最も嬉しい日
になります。



平成
28年度
から、

幼保連携型の認定こ
ども園になりました。
今までの幼稚園とし
ての機能に、保育機能
が加わった園としてス
タートしました。それ
によって、1歳児から5
歳児まで預かりの幅
が広がりました。
保育園認定によって、
子ども達の預かりの
時間はそれぞれ違って

認定こども園栗ガ丘幼稚園になって

園長 八代美千代

はいますが、子ども達
は毎日元気に登園し
「また明日遊ぼう
ね!」と帰って行きま
す。また、小さい子を
いたわる優しい気持ち
もより育まれているよ
うに思います。
「心身ともに健康で
たくましい子どもを
育てる」という園目標
に基づいて、これからも
子ども達とともに楽
しい園生活を過ごし
たいと思います。



認定こども園 すこやかな家族たち

編集後記

☆平成29年度が始ま
り、幼・保・小・中の
新人の皆さん、新しい
希望に満ちた第一歩の
踏みだしに私たち議員
も応援団です。

1月の大雪により町
内も大混乱に陥りまし
た。町民力のおかげで
何とか回復する事が出
来ましたが、この事を
よく踏まえ災害に強い
まちづくりを構築して
まいります。

さて、新年度が始ま
り議会も三月会議で慎
重審議の結果、当初予
算を原案通り承認しま
した。今後も厳粛に執
行される事をチェック
機関として見守ってま
いります。

発行責任者	
議長	大島 孝司
議会広報常任委員会	
委員長	小林 茂
副委員長	山岸 裕始
委員	中村 雅代
	福島 浩洋
	川上 健一
	小林 一広
	大島 孝司

29年度
注目目玉
事業

平成29年度 一般会計 47億 3000万円 (前年比4.4%)

◇学校給食におけるアレルギー対応食の提供 362万円



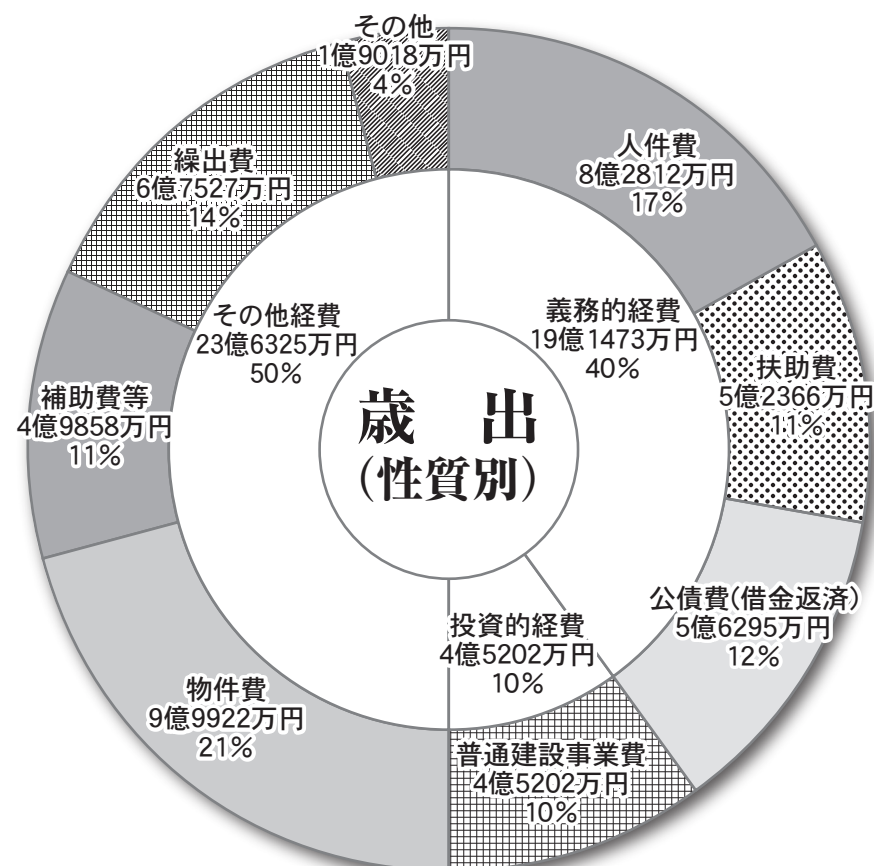
希望する児童・生徒に対しアレルギー食を提供するため、給食センターに管理栄養士の配置と調理設備の整備

◇スラックラインワールドカップの支援 400万円



9月に町内で開かれる「スラックライン」のワールドカップ(W杯)を支援する

3月会議は、3月6日より23日までの18日間の日程で29年度予算8件、補正予算5件、農業集落排水請負一般質問を13議員が行い、25議案を原案通り可

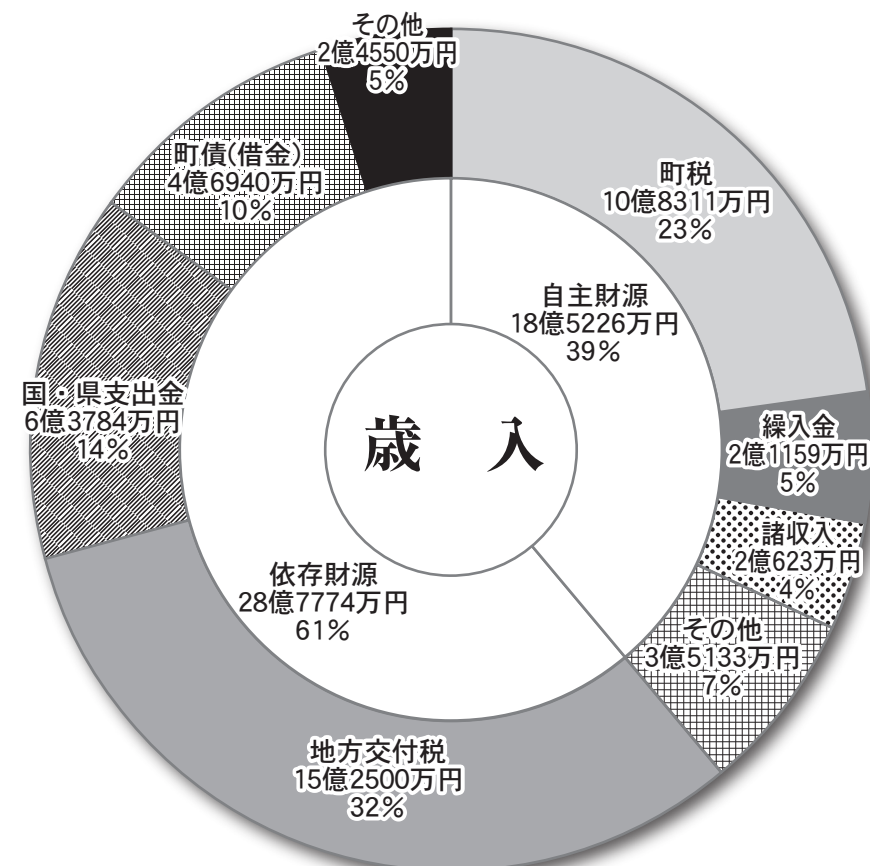


性質別支出

歳出されるお金の項目ごとの使われ方	
人件費	職員の給与や退職金、議員や委員の報酬などの費用です。
扶助費	法に基づく児童手当・高齢者支援・生活困窮者などを援助するための費用です。
公債費	保育園、学校、施設などを建てたときに借入れたお金の返済金です。
普通建設事業費	道路、水路、公共施設の新増設等の建設事業に使われます。
物件費	嘱託・臨時職員の賃金、旅費、役務費、備品購入費、報償費、委託料、光熱費などに使われます。
補助費等	各種団体に対する助成金や一部事務組合への負担金などの費用です。
繰出金	国民健康保険や介護保険などの特別会計に支出されます。

支出の「性質別」とは人件費などの義務的な支出、公共事業など将来のために投資する支出など「経済的性質」ごとに分類して表す方法。
「目的別」とは町が「どんな行政目的」のために支出をするかの視点で分類。

開催されました。審議案件は、条例の一部改正10件、契約の変更、長野広域連合規約の変更、陳情2件、決、陳情2件を採択した。



◇複合型介護施設の整備と助成 1億6188万円



デイサービスや訪問看護を行う看護小規模多機能型居宅介護施設を新生病院敷地内に整備

◇結婚プロモーターの育成 823万円



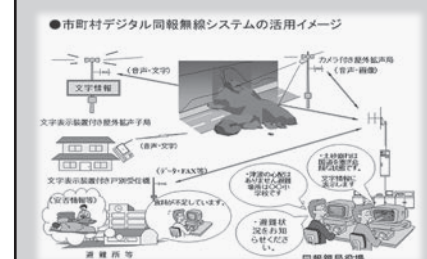
町内の各企業に結婚を支援する結婚プロモーターを育成する

◇新規就農者の支援 2883万円



新規就農者の販路拡大につなげる取り組みの支援と就農体験の拡充

◇同報無線の更新とデジタル化 6099万円



老朽化した同報無線の操作卓を更新し、無線装置から屋外スピーカーのデジタル化を整備

◇定住促進のトータルコーディネート 1828万円



町内の空き家改修や家財道具の処分に補助。また町外から町内企業に通勤する人が町に移住した際、家賃に補助する。

質疑

予算審査

ここが聞きたい

特別委員会

29年度の一般会計及び各種特別会計・水道事業会計は、予算特別委員会（委員長・関悦子議員）で審査しました。町政全般にわたり、数多くの質疑がありました。その中から、いくつかをお知らせします。



関 予算特別委員長

総務費

同報無線の全体計画はどのように検討したのか

同報無線整備事業費6099万円

Q 同報無線の戸別受信機は何時どこに居ても聞ける事が重要と考える。緊急時や最近の住宅事情を考えると、一家に2台必要と考えるが、また消防との連携は。

A 一家に2台という事も今後含めて考えていく。消防の無線との連携は現状考えていない。

Q 同報無線機更新計画には総額1億4800万円とあるが全体計画の検討をどう進めたのか。

A 庁舎内で検討したもので、全体にデジタル化すると3億4億かかってしまう。

教育費

体験型サテライト事業は国の交付金がないと行わないのか

小学校教科学習支援事業費350万円

Q 体験型サテライトオフィスの事業は、国の地方創生推進交付金が採択されないと行わないのか。

A 移住定住事業は大変重要な事業であるので国の交付金がつかなくても進めさせていたきたい。

総務費

地域少子化対策は

地域少子化対策重点推進事業費823万円

Q 少子化対策として、29年度は新たに結婚プロモーターを育成する事業が始まるという事で、企業・団体から10名程度募集し、養成する様ですが、企業・団体にお勤めの方、経済的基盤の不安な面はないか。

A ご指摘とおり、企業・団体から10名程度と考えている。また団体については商工会や社会福祉協議会で基本的な事務局を持つており情報発信力をお持ちのところからプロモーターを募りたいと考えている。

総務費

定住促進事業補助内容は

定住推進事業費1828万円

Q 定住促進事業補助金の空き家の定義は何か。また補助内容はどのようなっているのか。

A 空き家の定義についてですが、もともと住家として住まわられていた住宅で、何らかの事情で空き家となったものを考えている。また町の空き家バンクに登録いただいた。次に補助率ですが、空き家の改修について、内外装、屋根などの改修や給排水設備の改修に二分の一補助の50万円上限、家財道具等の片付けに二分の一補助で、10万円の上限とする。

民生費

わかば保育園・つすみ保育園の改修工事費は

保育園環境整備事業費220万円

Q わかば保育園・つすみ保育園の改修工事費は、これで足りるのか。子育て支援の予算を重点化すべきと思うがどうか。

A 老朽化してきて修繕すべきところは多々あるが、急を要するところを29年度予算でつけた。必要なものの優先順位をつけて行っていく。誰もが納得のいくような予算配分を行っていく。

教育費

図書館の職員体制を考える必要があるのでは

図書館管理費3562万円

Q 図書館の職員体制を考える必要があるのでは。

A 現在の館長1名、臨時6名では、図書館の役割を果すのも難しいが、バックヤードの仕事が出来るようになった。予算が少ないうえにも図書館の機能を保っている。限られた財源の中で、教育委員会と連携をとって行っている。

教育費

学校給食のアレルギー対策は

アレルギー対応食の提供362万円

Q アレルギー対策は、どの程度の食事提供をするのか。

A 食物アレルギーの子どもさんの保護者10名と面談をして、調理室、冷蔵庫等、調理に関する道具や食器等全部揃えて、アレルギー対応食の提供します。

総務費

小学校教科学習支援の英語の先生はどういう人か

地方創生推進事業費1778万円

Q 小学校教科学習支援の英語の先生どういう人を予定しているのか。指導内容はどのようなものか。

A 中学校の英語教科の先生を予定している。学習指導要領が新しくなり、小学校の

3年・4年生の英語活動が入り、5年・6年生は英語の教科が平成32年度から全面実施されるため、前倒しで英語の先生が5年・6年生の中に入り、1年間研究をする。

農林水産業費

新規就農者支援の準備型・経営開始型の内容は

新規就農者支援事業費2883万円

Q 新規就農者3名の内、1名分が29年度予算に間に合わなかったのか。又経営開始型、売上げ増で、給付額減るのか。

A 準備型1名分は28年度予算計上分で、2名分が29年度分。又減額については、一定の所得を超えると減額となる。

民生費

複合型介護施設の利用料は

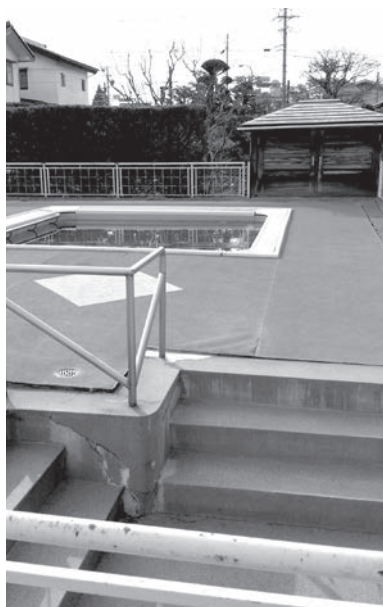
複合型介護施設整備事業費1億6188万円

Q 町への補助金と施設に支払われる県補助金の違いは。また利用料はどうなるのか。

A 訪問介護施設は県から直接補助がきて、建設等町が整備するものは町への補助金となる。利用料は所得に応じ1/2割負担となる。



体験型サテライトオフィス(旧小布施町交番)



改修予定のつすみ保育園のプール浄化槽とわかば保育園の廊下





公共建設物の耐震や設計業務等の適正化に向けての要望を審議

『多数の者が使用・利用する「特定建築物」及び「公共建築物」の耐震診断・耐震改修を早期に進めることと、耐震診断業務を発注する場合、国土交通大臣が定めた基準に準拠した契約をするよう町へ

政策立案常任委員会

1月会議
陳情審議
1月11日

意見書の提出すること
を求めるもの』の陳状
―賛成多数で採択

2月会議
補正予算
2月8日
2月16日

総務産業常任委員会

・2月8日

平成28年小布施町一般会計補正予算

○主なもの

1月14日から17日にかけての大雪による除雪費合計6550万円余を見込み等の補正。

―全員賛成で採択

2月16日

平成28年度小布施町一般会計補正予算

○主なもの

除雪費をさらに追加する補正。

―全員賛成で採択

平成29年度予算に対する
付帯決議

予算委員会から提出

※付帯決議とは

委員会が議案を可決する際に、当該委員会の意思を表明するものとして行う決議のこと。



平成29年度予算に関して委員会で十分に議論を尽くし、町民の皆さまにとって有用に使われるようしっかりと審議を重ねました。

平成29年度予算要望と回答
議会から要望した7事項に対する
町の回答を下記にまとめます。

平成29年予算要望書

予算が予定通り執行されていない理由を検証すること等7項目にあり、町に要望を行う（以下7項目要約）

- 1 予算と決算が大幅に乖離する事業が見受けられた。理由の検証と必要な事業計画を立て、それに沿った適正な予算編成に努められたい。
- 2 重点施策6項目の実績をすべての職員が精査、情報共有し、次の戦略につなげられたい。
- 3 毎年度、額が固定している100万以上の補助金について、その額が適正か、終期を設ける必要がないかを精査し予算に反映されたい。
- 4 経年劣化している施設の修繕等を精査し予算に反映されたい。
- 5 農産DMの活動について、目標をどこに置き、いつまで行うのか予算の中ではっきりと町民に示されたい。
- 6 6次産業センターの運営について、本来の目的が達成されているのか検証し、農家の所得向上に寄与するよう努められたい。
- 7 町民の健康増進のために公共施設に健康器具を設置することや、町民健康診断の受診向上のために健康ポイントの創設などを検討されたい。

【回答】1

町民税の所得割や国民健康保険の医療給付のように、予測困難で推測となっているものもある。今後予算編成時における十分な積算根拠の積み上げと把握に努め、予算執行に最善をつくす。

【回答】2

重点施策6項目は、取りまとめ町内のWEBで掲示し、すべての職員に共有を図っている。4月の人事異

【回答】3

26項目の100万を超える補助金がある。それぞれの補助の終期や削減について相手の考えをお聞きする上で判断するとともに、町の考えを取りまとめ推進する必要がある。

【回答】4

施設の修繕は、平成29年度必要な修繕箇所

を、情報共有した中で、最優先されるものを決定、リスト化した。

【回答】5

SDMの考え方に基づいた人材育成を目的に活動に取り組む。活動の終期については、年度末までを一端の区切りとして進めてまいります。

【回答】6

平成27・28年度では例年より2千万以上の売り上げを上げました。これはブランド戦略事業効果が、僅かずつ拡大しているところであり、今後も農家の販路拡大と所得の拡大に努める。

【回答】7

県内外の取り組みを参考に検討してきた。成果の上がる事例や上げられない事例と様々あり、引き続き平成29年度において検討していく。



6次産業センターは自立に向けて取り組みの成果もあり、2千万円以上の売り上げ増を達成

3月会議
補正予算
Mar.

総務産業常任委員会

○歳入の主なもの

国の交付決定に基づく歳入の決定、活用が終わった基金の一般財源への繰り入れ、実績に基づくふるさと応援寄付金の減等。

○歳出の主なもの

歳入の増に当たり、財政調整基金への積み立て、実績増による定住促進補助金の増、町長選の無投票による選挙費減。実績増による障害福祉事業費の増等。

○質疑の主なもの
・クラウドファウンディング組成報酬補助金の減額は、応募がな

2月会議は除雪対策費の補正予算審議が中心								
除雪等の発生状況				あらかじめ用意してあったお金				
1	1月末までの対応	発生額	費用累計	除雪費用	予備費	合計	累計	過不足
	1月14～17日大雪の除雪・排雪等	4550万円	4550万円	850万円	3700万円	4550万円		0
2月8日に不足分を追加								
2	2月中旬までの対応	発生額	費用累計	除雪費用	予備費	合計	累計	過不足
	1月14～17日大雪の排雪等	2500万円						
			8050万円	2000万円	2466万円	4466万円	9016万円	966万円
	2月10、12日の除雪等	1000万円						
2月17日に再び追加								
3	上記以後の対応	必要見込額	費用累計	除雪費用	予備費	合計	累計	過不足
	農道除雪	500万円						
	農地排雪	500万円	1億0050万円	2000万円	2400万円	4400万円	1億3416万円	3366万円
	雪捨て場のほかし	1000万円						
							予備費として	

賛＝賛成 反＝反対 議長は議決に参加しない

3月会議で賛否の分かれた議案

議案名 ※議案名は省略しています。	中村雅代	福島浩洋	富岡信男	小西和実	川上健一	山岸裕始	小林茂	小林一広	小淵晃	渡辺建次	関谷明生	関悦子	小林正子	大島孝司
職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	一
「共謀罪（テロ等準備罪）」に反対する意見書提出を求める陳情書	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	反	賛	賛	反	賛	賛	一
オスプレイの実働演習の中止を求める陳情書	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	一
「共謀罪（テロ等準備罪）」法案に反対する意見書について	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	反	賛	賛	反	賛	賛	一
オスプレイの中止を求める意見書について	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	一
小布施町一般会計予算について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	一
小布施町国民健康保険特別会計予算について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	一
小布施町後期高齢者医療特別会計予算について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	一
小布施町介護保険特別会計予算について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	一

2年間報告会に協力いただいた 15自治会の皆さまありがとうございます。 出前報告会 2年間の軌跡



・内容
・区分等
整理番号をつけて現在
取りまとめておりま
す。(下記参照)

議会報告会で
皆さんから
いただいた意見

- 【開催概要】**
- ①開催日時②開催場所③通知自治会
- 平成27年度**
- ①8月27日②中条公会堂
 - ①10月23日②東町公会堂③東町
 - ①12月22日②横町公会堂③横町
 - ①3月28日②大島公会堂③大島
- 平成28年度**
- ①7月12日②北部コミュニティセンター
 - ①11月30日②中町公会堂③中町
 - ①3月3日②伊勢町公会堂
 - ①3月22日②栗ガ丘公会堂
 - ③伊勢町・中央・中扇
 - ③栗ガ丘・福原
- 8回16自治会を対象に行いました。

整理番号	内容	区分	進度	場所	要旨	回答
270827-01	質問	議会		中条	・議会の傍聴できる日はどのように知らせているのか	①一般質問のある議会については、ポスター、新聞折込み、同報無線、HP。②一日議会の場合は周知をしていない。
280328-1	要望	議会		大島	・大島自治会の課題として、踏切が狭く、車1台通るのがやっとであり、通学路として安全面において危険性が高いので拡幅を役場に7年続けて要望している。1億円の経費の問題や、他の踏切の廃止を条件に出され苦慮している。今後、アンケートを取るなどして、陳情にもっていききたい。議会でも優先課題として行政に要望してほしい。 ④方法を探りながら検討していきたい。	H27. 8月会議一般質問、H 28. 6月会議一般質問で取り上げる答弁は、H 23年～継続しての要望である。国・県に相談しているが、近隣の踏切の廃止が必要としようされている。地元と調整しており、意思統一ができた段階で対応していきたい。
271222-1	質問	議会		横町	・一般質問を傍聴して4点の質問 ①ランドマークタワーの概略を教えてください。②「千曲川洪水対策に対する行動マニュアルを3月末までに策定する」との答弁であったが、町民が結果を知る方法があるのか。 ③ストレスチェック制度はどのような効果があるのか。町民にとってはどうか。④小布施橋の錆びについて「県に早期塗り替えを要請する」との答弁であったが、返事の内容は。	①地上40メートルのタワーでランドマークとして都市景観や田園風景において目印や象徴となる対象物。雁田配水池更新事業計画の一案として進められたが予算が合わず、白紙撤回となる ③改正労働安全衛生法に基づき義務化された。医師・保健師等による職員の心理的な負担の程度を把握する検査である。精神疾患等を未然に防止できメンタル不調による長期病休等の軽減につながる。

議会広報常任委員の
中心的な仕事は「議会
だより」の発行と「議
会報告会」の開催で

町の皆さんが感
じている意見を
聞けただけでは
なく、議員の成
長の場になりま
した。

議会広報常任委員会
副委員長
山岸裕始



議員の活動原則を定
める、議会基本条例で
も「年1回以上議会報
告会を開催する」とし
ています。

委員会構成が決まっ
た後、小林茂委員長が
「議会の活動をより広
く知っていただくため
には自分たちから町内
に出向かなければなら
ない」との考えを打ち
出し、28自治会をまわ
ることを目標にしまし
た。

結果、達成率は6割
弱となりましたが、普
段は町に対し質問する
立場から、町民の皆さ
んの質問に答える立場
になるという、議会の
会議や委員会ではでき
ない貴重な場をもつこ
とが出来ました。

議会として町内の皆
さまの意見を聞き政策
立案に活かす以上に、
貴重な場をいただけた
ことに感謝します。



議会報告会 伊勢町公会堂

3月3日に伊勢町・
中央・中扇の全戸に
ご案内。また3月21
日に福原・栗ガ丘の
全戸にご案内をして
議会報告会を開催し
ました。うち今回は
伊勢町公会堂の報告
会で出た意見を報告
します。



行政 施策

・農業主
体もいい
がそれ以
外の対策
も必要では
ない。
・小布施町がこれから
先、どのような目標を
立てそれに向かってい
るのか見えてこない
。・空き屋情報では
様々な団体や大学で取

り組んでいるがどうし
て各々しっかりと情報
交換できていないの
か。

・観光もいいが、小布
施は農業で食べていけ
る町にしないといけな
い。そのための施策を
しっかりと考え、高齢
化社会とどう繋げる
か。

・災害に強いまちづく
りをしっかりとしてい
くように求める
・大雪の時に交通渋滞
がひどかった。橋が通
行止めになった時に橋
の両側に通信施設が
あった方がよいのでは
と考えるが。

**議会
運営**

・まちづ
くり委員
会で議会
と意見交
換会をする
ことができる
のは一歩の前身であ
る。
・近隣では飯綱町が生
産性の良い町と聞いて
いるが議会はどうか

ているのか。

・議員定数等特別検討
委員会の答申の時期、
答申の方向は決まっ
ているのか。

・無投票になった原因
をどのように分析して
いるのか。報酬が少な
いのは関係あるのか。

・議員は14人いれば町
長に十分対抗できると
考えるか。定数を減ら
すと、町民の意見が届
きづらくなるので反
対。

・定数等、答申と堅苦
しいことではなく、こ
ういう場でざっくりば
らに話す場が必要。
・facebook等で情報発
信している議員もい
る。そういう情報は
オープンに見ることが
できどんどんやるべき
だ。各議員の考えを知
る場が必要である。
・議会の傍聴人数を増
やすために、組長や分
館長等大勢の役職の方
に案内する仕組みをつ

くった方がよいので
は。

・もっと若い人に大勢
議員になってもらうた
めの仕組みづくりをし
ては。

募集

小布施町議会で
は「出前議会報
告会」を開催し
ています。

まだ報告会を聞いたこ
とがないので来て欲し
いという自治会や団体
役員さん。
開催したが、「議会に
対してもう少し理解を
深めたいのもう一度
やって欲しい。」等
ご連絡お待ちしております。
○議会事務局
電話：026-2149112





渡辺建次議員

小・中学生の健康診断における 四肢の状態とその対応策は

中島教育長

13名の小学生と33名の中学生を
専門医への受診勧奨

Q 学校保健安全法施行規則が、平成28年4月1日に改正施行され、「座高」と「ぎょう虫検査」が削除されて、新たに「四肢の状態」が検査項目に追加されました。

「児童生徒等の健康診断マニュアル」に基づく、特に重点的に診る場合の検査例として、

- ① 背骨が曲がっている
 - ② 腰を曲げたり、反らしたりすると痛みがある
 - ③ 上肢に痛みや動きの悪いところがある
 - ④ 膝に痛みや動きの悪いところがある
 - ⑤ 片脚立ちが5秒以上できない
 - ⑥ しやがみこみができない
- 等が掲げられています。診断結果と対応策を伺います。

A 運動器健診の実施は、まず保健調査票等でスクリーニング（ふるいわけ）が行われます。今年度はスクリーニングの段

階で小学校55名、中学校52名に疑いがあり、学校医による健診を行い、小学校13名、中学校33名に専門医への受診を勧奨しました。

Q ⑥が検査項目に取り上げられたことからして、しやがみこみができない児童や生徒が意外と多いのではないかと推測されます。

小・中学校の和式トイレと洋式トイレの設置状況と、洋式トイレに改修する場合の経費について伺います。

A 今年度の運動器健診では、⑥の「しやがみこみができない」児童生徒はおりませんでした。

現在、トイレの洋式化率は小中学校共38%ですが、生活様式の変化にも対応していく必要があるものと認識しておりますので、当面は洋式化率50%以上を目標に、重点施策として改修の優先度を高め整備を進めたいと思っております。

妊産婦の産前産後ケアは

八代健康福祉課長

母子保健手帳交付時に保健師が面談

Q 厚生労働省によると、妊婦のうつ病によって、胎児の発達不全の危険性が高まるほか、パニック障害や不安障害など神経症性障害では、早産や流産のリスクが大きくなるといわれています。

同じく同省の調査では、産後1カ月の女性の約一割にうつの疑いがあったとのこと。

また、WHO（世界保健機関）の発表によると、うつ病は男性より女性に多くみられ、うつ病が自殺の主要因になっていると分析し、発症が疑われる場合は、自分が苦しんでいることを信頼できる人に話すことが第一歩だと提言しています。

小布施町の産前産後ケアはどのようなになっているでしょうか。

A 母子健康手帳交付時に保健師が面談する他、出生届時に産後うつの周知をし、産後2カ月までに全赤ちゃん宅を訪問し母親に産後うつ発見のための質問票で確認しています。

給付型奨学金の創設は

中島教育長

平成30年に奨学金の見直しを予定しています

逢瀬神社から横町公会堂へ
向かう町道の安全対策を
畔上建設水道課長

通学路安全協議会で
取り上げたいと思います



安全対策が急がれる町道22号線

大雪で学んだこと、課題と対策は

久保田副町長

除雪から排雪へ、全庁あげた取り組みに

Q 1月の大雪に対して、行政から見て主な課題は何か、その対応は。

A 1月14日深夜から除雪を開始し、17日からは幹線道路の排雪も行いながら約3週間を費やした。今回の大雪に関する課題として、①全庁あげての災害警戒本部、あるいは災害対策本部を設けて対応する必要がある。今後、今回のような事態が少しでも予測された場合は設置をする。また、広域連携も視野に体制づくりを進めていきたい。②除雪の課題は雪を置く場の確保と排雪を実施するタイミングにあり、雪置き場の提供と排雪に協力をいただける事業者との事前の打ち合わせをしていく。

られた、雪を押し付けられた、など。「除雪時間が遅い」については、除雪計画に沿って除雪を行っており、降雪状況から遅くなっているが順次除雪を行っていく旨を説明。「畑に雪を入れた」については、畑の所有者には事前にお願ひしていなかった点をお詫びし、排雪の要望があった箇所は排

雪を行った。「雪を押し付けられた」については町の雪害対策は除雪が基本であるので、ご理解をお願いするとともに、幹線道路や自治会要望のあった道路は時間がかかったが、排雪を行った。

Q 雪害対策の基本は、町が道路機能の確保を図ることと住民の自主的除雪であるが、高齢化、住民ニーズの多様化を考慮した見直しが必要と思うが。

A 町民の皆さんによる除雪は家庭の事情により行う時間が異なったり、高齢等で除雪に協力いただくことが難しい家庭もある。新たな除雪体制、仕組みを考えていくべきと思う。本年、

自主防災組織の機能強化を進めるため、災害発生時における自治会の防災活動をリードする方の育成を、自主防災会と連携の中で進めていきたい。除雪体制についても話し合っていきたい。

Q 道路上ですれ違いのできる除雪が望ましいが、町内では無理な道路がたくさんある。道路沿いの民地等をお願いして、車両退避場の確保と標識の設置を降雪前に呼び掛けていく必要があると思うが。

A 来季に向けて、今年の状況を十分踏まえて車両避難所を地域住民の皆さんの協力をいただき確保していきたい。避難所設置の際は、標識も同時に設置したい。

Q 「小布施町地域防災計画」の第4編、第1節「雪害対策」を格上げすべきと思うが。

A 本年度地域防災計画の見直しを行う。除雪から排雪への移行、事業者や長野県関係機関との連携、雪置き場の確保等について規定していくことが必要と考える。これらを踏まえ、雪害対策編の位置づけを検討する。

Q 住民からの苦情・要望の主なものは、その対応は。

A 苦情・要望の主なものは除雪に来る時間が遅い、除雪が上手くない、畑に雪を入れ



千曲川堤防上の大型重機による消雪作業



小林正子議員

子どもと障がい者の医療費の完全窓口無料早期に

八代健康福祉課長
市町村長

町としては18歳まで窓口無料を県に求めて行きます
小林議員と考える同じ 議会は窓口無料意見書再検討を

しかを払わなければならないのは

**要支援Ⅱの介護保険を外した町への移行の受入れ準備は
受入れて今の利用者の利用を削減しないように**

**八代健康福祉課長 現行相当と基準を緩めたサービスで対応
「お茶のみサロン」全自治会にお願いしていきます**

おかしい。小林議員と同じ考えです。完全早期窓口無料へ私も町会長などの場で強く働きかけていくが、議会の力は大きい。12月会議で窓口無料の陳情を不採択としたが、ぜひ議会の皆さんにはもう一度検討をお願いしたい。

Q 小布施町は18歳まで医療費無料ですが一旦は窓口で払い、しかも1レセプト当たり300円が手数料として差し引かれる（県は500円）。国のペナルティーがあるから窓口無料など無理と言われるが、47都道府県で長野県など6県のみが窓口無料ではありません。

府県に通知しました。小布施町としては県に窓口無料を手数料なしで完全実施を強く求めていると思います。

小布施町の12月会議に新日本婦人の会から「子ども医療費の窓口無料」の陳情が提出されたが、残念なことに不採択となりました。しかしながら、全国各地で母さんたちの運動があり、多くの地方議会でも陳情が採択され、知事会や市町村長会の提言も重ねられてきました。

A 県の案は未就学児の医療費全額と小中学生の入院医療費を窓口無料化し、県補助2分の1で、市町村に意向調査があった。町は、18歳までの全ての医療費の無料化と県の助成の拡大を要望しています。

Q 18歳までの県への回答を歓迎します。手数料廃止も含めての完全実施、スピードを速めて実施の要請をお願いしたい。

A 《町長》「18歳まで医療費無料」と言いながら何が

Q この4月から要支援Ⅱの方は介護保険の訪問介護、デイサービスが利用できなくなる。町に移管されるが、十分な受入れができますか。制度の後退の反省を抜きにして、「地域で看るのが本来の姿」と言っていて、本来に地域や町民の協力が得られるか心配です。

A ①訪問型サービス ②通所型サービス それぞれどうか。③配食サービス ④認知症に対する施策の推進状況 ⑤訪問介護 ⑥地域包括ケアシステム について具体的に。

Q いきいきサロンの今利用している皆さんは楽しみに通っている。介護保険からの移行で、通える回数が減るのはと心配されている。利用回数を減らさぬよう万全の取り組みを願いたい。

こうした声に押され、厚労省も検討し始め、昨年12月22日、就学前までの窓口無料へのペナルティーを外すとの結論を出し、2018年4月1日から、未就学児までは減額対象としないと都道



桃源荘での社協「いきいきサロン」ボランティアの助けを借りて過3日間（3月現在）を要支援の方も一部含めて、利用の皆さんは楽しんで過しています。

緊急除雪体制の充実を！

畔上建設水道課長

大雪時の雪害を想定した体制づくりを進める



小西和実議員

Q 昨年の3月会議12月会議でも除雪の体制について一般質問を行った。

危惧していた通り1月の大雪では、他市町村と比較して除雪体制が万全でない状態をつかれてしまい、他市町村より道路の除雪が安全に速やかに行われていなかったという印象が町民の方に持たれている。

また、「小布施町の除雪の仕上がりは隣接市町村よりひどい」という声を町民の方より頂いている。

A 予算増額ありきでない、「想定外を想定した除雪体制の整備」が必要であると考えられるが、今後どのように体制を整備すべきであると考えるか。

今回の大雪に際しては、町をあげての災害警戒本部、あるいは災害対策本部を設けて対応していく必要があったと痛感している。今後は今回のよう

な事態が少しでも予測される場合は災害警戒本部、あるいは災害対策本部を設置し、対応をしていきたい。と考えている。

また、大雪時の雪害を想定した広域連携、体制づくりを進めたいと思っている。町民の皆さんに協力をいただき実施している除雪については、高齢化などにより難しい状況も見受けられ、新たな除雪体制や仕組みを考えていくべきであり、今後、自治会長の皆さんなどとお話をしていきたいと思っている。

衛生委員会の現状について

田中総務課長

快適な職場環境を
作り出すよう努めたい

Q 昨年6月に開催された小布施町議会6月会議において、川上健一議員が「町職員の衛

A ①衛生管理者については町保健師に委嘱、②衛生委員については、副町長、産業医、衛生管理者、総務課長、健康福祉課長、職員組合、の4名の計9名となっている。③衛生委員会は、毎月1回開催で、2月まで7回開催しており、職場巡視の結果を報



想定外の大雪で道路が危険だった

生委員会は機能しているのか」という質問を行い、町側の答弁は「新たに本年要綱を施行したが、衛生委員会の設置、衛生管理者、産業医については、まだ設置および委嘱をしていない。早急に立ち上げたいと考えている。」と答弁があった。その後、いつ、どうなったのか、説明してください。また、

告している。本年度から実施したストレスチェックでは「ストレスチェック制度の基本方針」や「実施要綱」について検討、11月にストレスチェックを実施した。高ストレスの職員には相談を頂ける産業医の他にも相談ができる機関を紹介するなどご意見をいただいた。

その他、ハラスメント研修、アンケートを実施した。また、人間ドックなど健康診断の後の2次健診受診の再検査への指導を強化している。今後、職員自らの健康の保持増進を図り、快適な職場環境を作り出すよう、努めたい。



小林一広議員

ソーラー発電タイプの生活灯の設置は

八代健康福祉課長

費用面の課題があり今後研究していく

Q

春になり通勤、通学、塾への行き帰りなど夜間の歩行の機会が多くなる季節です。住民の夜間歩行の安全は守られているか。また、生活灯新設の要望の状況は。

A

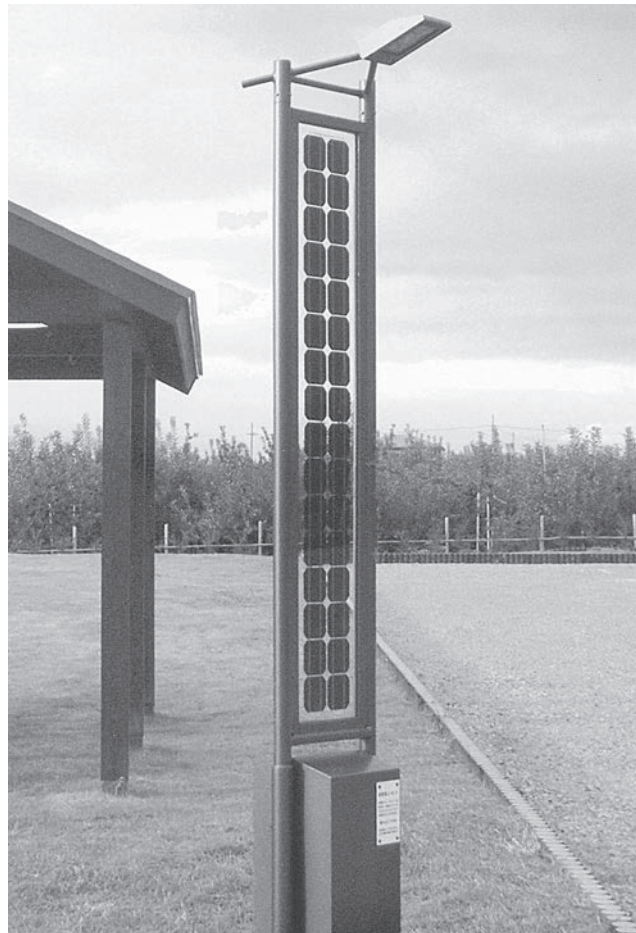
生活灯については、毎年自治会の新設・修繕の要望を受け、安全な通行と犯罪抑止のため、順次整備をしている。28年

Q

度については新設11箇所、修繕56箇所の計67箇所の要望がありLED化を行っている。

A

これからの小布施町の景観をつくっていくためにもまた、非常用電源の確保からのもまた、ソーラー発電タイプの導入は。ソーラー発電タイプの設置費用は1基当たり百万円ほどの事業費。町の生活灯は電柱



ソーラー発電の街路灯

Q

鑑賞温室の加温機が経年劣化と聞くが現状は。

A

正常に稼働しているが設置後25年近く経過している。施設そのものへの入場者が減少する中で温室の模様替えを検討している。

Q

近隣市町村ではこのような施設はとても貴重。維持の再検討は。

A

低い投資で高い効果が生まれる植栽を模索したい。

フローラルガーデンの温室の現状と今後は

竹内産業振興課長

入場者が減少する中で模様替えを検討



フローラルガーデンの温室

Q

バイオマスボイラーのガシファイヤーの導入は考えられないか。

A

植物由来のエネルギー提供は温室の模様替えに見合う物語性の中で検討の余地はあるが低いランニングコストでの植栽を目指す中でガシファイヤーの特性が適すかの検討が大切になる。

か

(3)パトロールの強化や住民の防犯に対する意識醸成をどう図るか

A

犯罪等の発生状況は、27年末が44件、28年末が35件(車上ねらいが7件、自動車盗難が5件、万引きが3件等)と減少傾向です。防犯カメラの設置状況は小布施駅・都住駅に1箇所、総合公園駐車場2箇所。他市町村との比較では同数程度。カメラを活用した対策についてはプライバシー等の配慮も必要であり、今のところパトロールや公報等で啓発を行っていききたい。防犯協会での駅前での啓発活動、防犯指導委員会による年3回の町内一斉パトロールやくりんこ祭り、安市等でのパトロール、まちづくり委員会のパトロール、まちづくり委員会、商工会青年部等による青パトを使用した啓発、ホワイトエンジェルス隊によるボランティア活動など多くの皆さんに長年にわたってご協力をいただいております。国や県の、防犯カメラの設置に対しての補助金の把握はしていない。

地域の安全・安心の町づくり、犯罪の少ない町づくりを目指し、防犯意識の醸成に取り組んでいきたい。

「安全」分野の防犯体制の強化を

八代健康福祉課長

地域住民相互の信頼感を醸成する

犯罪体制を進めていきたい

Q

全国の平成27年における刑法犯の認知件数は窃盗が73・5%と最も高く、次いで、器物損壊、詐欺の順であります。振り込め詐欺など特殊詐欺は被害額とともに増加傾向が続いています。幸い小布施町においては警察や防犯協会、女性部、防犯指導員会等地域の見守りのおかげでこのような犯罪は減少傾向にあり、凶悪な犯罪も起きておりません。防犯パトロールや児童・生徒のあいさつの励行などを推進することにより、町民が防犯意識の向上を図ることを目的に防犯活動を行っています。

しかし、この小布施町において

2月中旬、小学校・文化体育館の駐車場において車上ねらいが発生してしまいました。すぐに警察に届け出て対応していただき、役場でも同報無線で注意喚起の対応がなされましたが、手がかりありません。

最近犯人逮捕や犯罪の抑止に威

力を発揮しているのが防犯カメラ

です。防犯カメラのない社会が望ましいのですが、なかなか防犯パトロールや街頭啓発活動では犯罪を未然に防ぐことに限界があります。防犯カメラは、事前に犯罪を踏みとどまらせるといふ抑止力を含めた、地域防犯力の向上につながり、人捜し等にも十分威力を発揮し、行方不明者の捜索にも大きな役割をもたらしようになってきました。

そこで、町の重点施策であります、安心・安全なまちづくりの推進の防犯体制の強化についてお話しします。

- (1)当町における過去2～3年の事件や犯罪等の発生状況は
- (2)防犯対策について

- ・防犯カメラの設置状況は
- ・当町の防犯カメラ設置状況と他町村との比較はどうか
- ・防犯カメラを活用した防犯対策(児童が安心して通える通



護身術を学ぶ中学生とホワイトエンジェル隊の皆さん

学路や公共施設等に防犯カメラの設置など)についての考えはどうか

・国・県の補助金制度はあるの



關 悦子議員

町内に勤務する方々の定住促進を

市村町長 家賃補助的な制度を創設したい

町は、人口増と定住促進する。

Q 町は、人口増と定住促進を目的に、定住促進補助金を交付、移住体験ツアーの開催、

これらの取り組みによる成果に期待したい。

さらに、町内にある企業、事業所などに勤務する方で町外から通勤している方が、新たに小布施町に転入していただけるような具体的な施策の実現を期待したい。

そして新しい旅立ち



町内に居住することにより、通勤時間の短縮による環境保護や、家族と過ごす時間が増えるばかりでなく、事業所の通勤手当の削減や、町の税収増、自治会・育成会の活性化や消防団員の確保など、地域力のアップに繋がるのではないか。

A 町内にある
企業・事務所
などに勤務する方
で
町外から通勤して

る方の移住に対し新年度予算で家賃を補助することを想定した積算をしている。町内に転入し、住民登録をし、自治会への加入、地域活動への参加に同意いただき、一年以上の定住などを条件に、一定の補助を考えていきたい。

子育て・教育支援の

池田教育次長

病後児保育は新たに
町保健センターで実施する

Q 年度から、NPO法人に委託し実施しているが、7年間の述べ利用者数は4人である。利用者が少ない理由は手続きが面倒、看護休暇制度が充実したなどと分析しているが、利用しやすい施設、手続き、環境でなければならぬと思う。

(1) 来年度以降も、従来と同様に、

NP O 法人に委託して実施するの
か。

(2) 今年から隣接する長野市、須坂市の病後児保育施設を利用できるようになった。そこを利用する際は新たに、利用料の負担が生じるが須坂市は無料と聞いている。定住促進の意味でも、利用料の減免などの支援を。

(3) 高校生を対象にした県教委の調査では、「学校と自宅までの距離」を理由に志望校を変更した理由の多くは、「多額な通学費の負担」とのことであったが、「通学費の負担が大きく志望校で学ぶことができないことは、大変残念である。一定の支援が必要と思うが。」

A (1) 来年度の病後児保育事業は町保健センターで実施していく。看護師は医療機関からの派遣をお願いしていく。

(2)長野市、須坂市の施設を利用する際の利用料の減免については今後、議論を深め、検討していきたい。

(3) 高校の授業料の無料化、町福祉医療の給付等で経済的負担の軽減が図られているため、現在のところ新たに通学費の援助は考えていない。



富岡信男議員

町土地開発公社あり方の検討状況は

畔上建設水道課長 早い時期での解散を目指しています

Q 町土地開発公社は、公共用地の先行取得、管理・処分を行うことにより、地域の秩序ある整備を進めることを目的に多くの自治体で設立されましたが、バ

県内でも土地開発公社の解散が進む中、理事会でも早期に保有財産の処分を進め、解散を検討すべきとの意見をいただいているとの答弁がありました。

また、公社事業として工場集団化事業を行っており、平成27年3月末で土地改良事業実施後8年経過となり、補助金の縛りがなくなることから、それ以降農振除外や地区計画等の手続きを進め土地の処分に取り組んでいく。

国道403号整備の代替地として取得した用地があり、これらの処分の用途が立ったところが区切りと考えているとの答弁もありました。

平成27年度土地開発公社事業報告書を見ると、公社所有地については、ほとんどが町からの依頼による代行・先行所得用地であり、事業実施に伴う買戻しがないため長期未利用の状態になっている。緩やかになったとはいえ依然として地価は下落傾向にあり、保有地の有効活用、伊勢裏用地、工場集団化用地の処分の調整に取り組みましたが処分には至らず、今後これらの用地も含め一般への売却も視野に早急に保有地の処分を行い、自己財源の確保に努めるとともに健全な事務事業の推進をしていくとあります。

土地開発公社保有地についての
検討状況をお聞かせください。

 土地開発公社につきましては、保有地の活用、一般への売却を視野に早急に処分を行い早い時期での解散を目指していきます。

雁田沖工場集団化用地は、隣接企業と調整を進め、本年2月17日付で農業振興地域整備計画の変更（農振除外）の同意が得ることができました。現在平成29年度中の土地売買契約の締結、開発行為、農地転用許可に向け準備を進めています。

小布施駅前伊勢裏用地は、隣接の町内民間企業所有の土地と併せた宅地造成計画を進めており、事業の最終調整を行ってきています。

上町西側用地については、国道403号整備に合わせての処分、ゆうすげ花壇として利用している雁田宮林用地などは公共施設用地として活用するため町での買戻しの方で調整をしていきます。

い、自己財源の確保に努めるとともに健全な事務事業の推進をしていくとあります。

土地開発公社保有地についての検討状況をお聞かせください。



隣接企業との調整を進めている雁田沖工場集団化用地



小淵 晃議員

ふるさと納税の更なる進化に向けて

西原企画政策課長

果物の収穫体験は、魅力ある

感謝特典になると期待しています

この時期になると「ふるさと納税」に関するマスコミの報道が多くなり、年々その関心は高まっています。

小布施町への「ふるさと納税」は、平成20年～26年の7年間は年平均298万円でしたが、28年は積極的に取り組みをされ1億2百72万円余で、今までの実績を大幅に上回る成果を収めた。

前年の52品目の感謝特典を、本年は新たに30品目も開拓し82品目に増加したにも拘らず、1億円に達しなかった原因と今後の取り組みは。

みは。

①平成28年の「ふるさと納税」を受けた件数と金額は。

②感謝特典で希望が多い、品目の比率は。

③収穫前に受付ができるような予約制度を

④来訪者の増加を図るために「滞在コース」の充実を、特に果実の収穫体験の採用を

①平成28年12月までの件数は7千5百89件で、金額は9千7百35万円でした。

②品目別の比率は、農産物・約87%、商店の食品・工業製品・約10%、振興公社の加工品・約2%です。

③旬の農作物を大切にしたいため、収穫期の4か月前から受付を始めた。

④町が目指す交流観光そのものであり、農家の皆さんのご協力をお願いしてまいります。



りんごの収穫体験は人気

ふれあい食堂の開設を

中島教育長

春には実現するよう

進めます

Q

昨年の3月会議で「子ども食堂」の開設を要望しました。お聞きするところによると町では「子ども食堂」への支援を検討をされておられるとのこと、感謝を申し上げます。

1月7日、長野市で開催された「信州子ども食堂セミナー」の席で、昨年は長野県内での子ども食堂の開催は120回で、参加者4,867人と聞き、開設の意義を痛感してきました。

私は今まで「子ども食堂」と言ってきましたが、一人で夕食を食べる子ども、新規定住の家族、放課後教室の児童など、誰でも気軽に参加頂き交流の場所にするため、呼称は「ふれあい食堂」が良



笑顔いっぱい!! ふれあい食堂

いと思います。

①「ふれあい食堂」を開設したら継続していかねばなりません。よって一部の方の善意に頼るのではなく、多くの町民の皆様のご支援・ご協力を頂き「オール小布施」で支える組織づくりを。

②フードバンク信州から食材の提供を受け、また町からも施設の使用料などの支援を受け持続可能な体制に。

A

①地域の子どものは地域で育てるという理念に基づき、春の温暖な時期に第1回目を開催し、以後は月1回を目指して普及を図りつつ、徐々に地域や民間のグループに移行してまいります。

②関係団体や町民の皆さんのご支援を頂きながら、町でも連携を図り支援をしてまいります。



今年は道路の雪の排雪をするための町の判断が遅かったため、道路に雪が貯まってしまった。(町は1月18日から排雪を開始)

Q

2017年1月17日は記録と記憶に残るであろう大雪になりました。

除雪費は過去最高だった年の倍以上の1億円を超すことになりました。

このような大雪で町民の生活に大きな影響が出ている中、「地域住民の安心・安全の確保に万全を」尽くせるかが行政職員の使命になります。



山岸裕始議員

小布施町の除雪体制の見直しを

久保田副町長

担当課だけで対応するのではなく、全町をあげて対応する体制を整える

小布施町に求められるのは

・10cm以上の降雪時に速やかに除雪の出動要請をして、除雪路線に雪が残らないようにする。

・歩道や狭い道路は地域の皆さんに協力をお願いをしていく。

・敷地内の雪は、原則敷地内で処理をしていただけるよう町民の皆さまにお願いしていく。

・排雪場所の確保や、一時的な雪捨て場の確保を地権者の皆さまにお願いしていく等です。

町民の皆様の協力で、歩道や狭い道路の雪は、きれいに雪かきがされたケースが多い反面、除雪対象道路に雪が残っていました。また町指定の排雪場所に行っても雪が捨てられない状況になる等、大きな課題が残る年となりました。そこで小布施町の除雪の体制について3つ質問をします。

- (1) 出動要請の体制は
- (2) 雪捨て場の確保・整理について
- (3) 除雪単価について

A

(1) 町内在住の建設水道課職員で除雪当番を行い、通常、早朝4時30分に降雪・積雪状況を確認して出動依頼をしている。

(2) 例年お盆過ぎから地権者にお願いで了承を得ている。来期に向けて雪が溶けるまで置いておける場所を出来るだけ多くの確保に努める。町指定の雪置き場には今年は重機を搬入して整理を行ってきた。

(3) 除雪の契約は、除雪機の持ち込み費用の支払方法により異なっ



水路を補強したが環境や下流のことを考えれば浸透性の方が良いのでは

Q

職員駐車場を目的として福原に駐車場の整備を行いました。

舗装後、雨水が流れ出る水路のカーブの部分の壁を予算追加してつくりました。

根本的な解決にはならず、下流の水路が細くなる部分や、カーブの部分で水が溢水することが考えられます。利用場所や面積により浸透性の舗装をするための基準をつくった方が良く考えるがどうか。

A

水路に流れ込むことを抑止する一定の効果があると思われるが、コストが通常よりも割高で、劣化が早い。小布施町のように寒冷地では、冬期間、水が浸透した状態で凍結して路面の劣化が進みやすい。現時点では基準を設置することは考えていない。



関谷明生議員

平成31年から農業経営収入保険制度が実施され

加入要件となる青色申告の実態と普及推進は

竹内産業振興課長

平成27年所得ベースで農業所得申告704人中370人

52.5%の農家が青色申告を実施

Q

平成31年に導入される農業経営収入保険は農産物価格の下落や収穫後の被害、風評被害など全てのリスクに対応し農家の経営安定に万全を期すとされています。その加入要件となつていて青色申告の実態と普及推進について伺います。

A

本町における青色申告の実態は平成27年所得ベースで、農業所得申告者704人中370人が青色申告者で52.5%を占めています。

青色申告の推進は、農協や商工

会などの申告の研修会では、青色申告を行うよう指導しています。

また町の申告相談でも、収入が大きい方には、控除等でメリットがある青色申告をお勧めし、実際に、青色申告を始めた方もおいでになります。

一方、現状では収支がマイナス

になる方や、収入があまりない農家の方、高齢の方には積極的なお勧めはしていません。

Q

農業経営収入保険の取り組みはどのように考えていますか。

A

果樹経営が主の本町の標準的経営実態からはこれまでの自然災害のみの補償よりも価格下落の対象となる今回の制度は魅力ある制度と言えます。しかし、一概に

は言えず、各農家の規模や内容によつては、これまでの制度と充分比較検討することが大切になります。

まずは各農家が選択するのに判断しやすい制度説明に重点を置いて進めてまいります。

農地法の下限面積

緩和の取組みは

竹内産業振興課長

農業振興の面から

10アール以下は困難である

Q

町では、農地取得における下限面積を10アールと決めています。農地法に基づいているのですか、それとも構造改革特区の認定が継続されているのですか。

須坂市農業委員会は1月から・宅地に隣接、あるいはそれに準ずる1アール以上10アール未満の農地を、遊休農地もしくは

A

現在は農地法の規定により10アールを指定しています。10アール規定にかかわらず一定の要件をクリアすれば町でも1アールから設定することができ

ます。しかし、農業、農村への理解を深め、個人が農業に参入しやすく、農業で生計を立てていくという観点から考えた場合、10アール以下では実現することは非常に困難であると考えております。

須坂市は農業で生計をたてる就農というよりも移住定住促進の意味合いが含んでいると聞いています。

他の市町村の実例も注視し適切な面積を設定していきます。

町に競歩の公式競技場は出来ないか

池田教育次長

正式なものとならないが、千曲川の堤防上、

競歩の練習などに適したものと思う



川上健一議員

Q

昨年、リオデジャネイロオリンピックで大島の荒井広宙選手が見事に銅メダルを獲得し、小布施町民に喜びと感動をもたらした事は誠に大きな出来事でした。

荒井選手が日本の陸上の歴史に輝かしい一步を記したことは、間違いのない事であり、改めて本町にすごい事をやってくれたなと、日を追うごとにその思いは大きくなつてきております。

今回の荒井選手のメダル獲得

は、競歩以外の陸上競技者やコーチ、指導する関係者に大きな希望と力を与えてくれたものと思います。

荒井選手が今回成し遂げた輝かしい功績を讃えるとともに、オリンピックを目指す陸上競技者やこれから育ってくるだろう子どもたちに、改めて勇氣と希望を与えるべく、リオ五輪銅メダル記念競歩大会を開催してはどうか。

(1)子どもたちの中に競歩をやるうとする者も出てきている。小学校・中学校ではどのような対応がされているのか。

(2)町内に公式の競歩競技場を造つてはどうか。

(3)その競技場のオープン記念大会として荒井広宙選手リオ五輪銅メダル記念競歩大会の開催はどうか。

(4)指導者についても必要と考え。荒井選手がお世話になった内

田さんのような指導者を招き、定期的に指導会を開いてはどうか。

A

(1)学校において競技を希望する児童・生徒は見られず、特別な対応はしていない。

(2)正式なものとはならないが、千曲川の堤防上、競歩の教室や練習などに適していると思われる。

(3)ウォーキング等の行事に参加いただけるよう働きかけたい。

(4)内田監督による競歩指導や教室は希望される方がいれば、募集をし、実現したい。

1月の大雪による農業被害を

受けた農家への支援は

竹内産業振興課長

今回は国県による

施設復旧事業はない

Q

1月14日から17日にかけて降った大雪により、3年前に引き続き町内の農業施設及び樹園地に大変な被害が生じまし

た。

(1)野菜等のハウスの復旧は。また国・県の補助は。

(2)樹体被害への支援は。

(3)農道の除雪が十分ではなかったのでは。

A

(1)国県の施設復旧事業はない。町はぶどう柵の仮復旧資材費助成、除雪支援、利子補給を行う。

(2)樹体回復への経済的負担は行わない。

(3)除雪路線以外の主要な農道の除雪を行った。



競歩の練習が可能と思われる千曲川堤防上のコース



大雪で被害を受けたビニールハウス



福島浩洋議員

議会からの28年度予算要望の進捗状況は

田中総務課長

概ね達成しました。
更に町内発展のために進めてまいります。

Q 老朽化した施設の改善を各課の要望をまとめ優先順位づけして予算化、具体的な進捗状況は。

A 各課の課長全員が協議した中で原案決定をし、1、000万未満の修繕等は当初予算に組み込み、これを超える規模の修繕・更新については決算時の収支差額や基金を積み立てる等の財源確保で対処、29年度の最優先となるものを選定し予算化して進める。



修繕した総合体育館

Q 交通安全対策については。交差点の改善、信号機は考えておりませんか。

A 中松地区コミュニティ道路進入対策は昨年、県に右折レーンが消去して頂いた。◎駅前線と国道403号T字交差点のカーブミラーは北側の電柱に設置したが事故が発生している事も踏まえ、運転者に分かりやすい正面に再度、地権者をお願いしていきます。信号機は考えておりません。

◎小布施駅前歩道整備は29年度の事業で北側・南側共全線を須坂建設事務所にお願いをしています◎町交通安全プログラムの更新状況は同安全協議会を開催し28年度に実施した事業箇所を検証、危険箇所の追加や対策の更新をします。行楽期の渋滞緩和に臨時駐車場確保とシャトルバスの運行は。

Q 既存の臨時駐車場に隣接する形で土地が確保できず、

年10月より利用しています。ここは町中心に近い事も有りシャトルバスは運行していません。

Q 雨水対策事業において28年度の進捗状況は。



完成した伊勢町地区雨水調整池

A 伊勢町地区の雨水調整池と下流の北部水路が完成。また自治会からの要望の水路改修事業は1月の大雪の除雪作業を優先した事で遅れておりますが年度内竣工にむけて進めております。

Q 医療費抑制について「自分の健康は自分で守る」ための施策の28年度の達成度は。

A 「健康増進を更に進めます。」特定検診の結果から保健指導対象者やハイリスク者の指導を実施しています。国保の医療費は26年度に比較して27年度では6千万円の減少、1月末現在では27年度同期より更に6千万円程度の減額となっています。各自治会等で健康や介護予防、ウォーキング等の地域学習会を開催、保健福祉委員に1年目からそういった取り組みを進めていただきます。また、健康ポイントや健康器具の導入も引き続き検討してまいります。



正面にほしいカーブミラー

委員会活動 議会日誌 視察研修会

議会広報クリニック研修会

「議会だよりの基本と編集」を学ぶ

1月30日に芳野政明氏による研修会が行われた。講師によると

「いかに読み手側（住民）に読まれ、議会活動をどう伝えるか。パッと見て読む気が起きない紙面は、目をひくタイトル、見出しや記事、写真などを効果的に配置し分かり易く読みやすくするのが大切。今後の小布施町議会広報常任委員会に役立て、常に住民目線で企画内容を考え、編集技術を検証しながら、個性あふれた議会だよりを目指します。」

上高井郡町村議会議員研修会

ワインの生産事情ブランド化を目指す
2月8日、高山村で、



広報クリニックの実践講座

フード&ワインジャーナリスト鹿取みゆき氏を講師に「長野のワイン造りの可能性」世界と日本のワイン事情を見据えて「のワイン学を聴講する。地域に於けるワインを中心にしたいなりわいをいかに工夫していくか。また、自社（家）の畑で作る育て、醸造販売するブランド化を目指すにはどうしていくのか。参加した高山村ワインどう研究会の皆さんと一緒に議員も大変参考になりました。」

部落解放同盟小布施町協議会と懇談会

まちづくり委員会と懇談会

「部落差別解消推進法」が昨年12月9日に成立。小布施町協議会は「インターネット上の差別情報の氾濫や、結婚差別、差別身元調査事件など今日に至ってなお存在する部落差別の実態を踏まえ差別は社会悪であり、差別撤廃に向けさらに運動を強めたい」と組織強化を訴え、課題の解決に議員の協力を求める声が出ていた。



JA長野厚生連 北信総合病院

また、当日の一般質問の傍聴では「踏み込んだ課題の追求を」など要望が挙げられた。

北信総合病院完成

平成25年より増改築が行われ、新西棟、CT・MRI棟、新外科棟、救急診療棟が完

成。ヘリポートも設置され、今年6月に運航が開始される予定。人口減少や少子高齢化により利用者が減少し、経営圧迫が課題とされるが、病院改革プランに則り診療体制の強化による健全経営が期待される。



インターネット人権侵害問題バナー